

理数工学科 大学進学を目指して

理工系大学進学を目指している生徒、浜工理数工学科は、そんな生徒を応援する学科です。

理数工学科 6つの特色

1 工業科と普通科を融合

工業科で学ぶ様々な分野の工業基礎実習を体験し、普通科理系科目である「英語」、「数学」、「理科」を1年生から多く学ぶなど理系に特化した教育課程で効率よく学習します。ものづくりを体験し、自分の適性と照らし合わせて、進路選択をすることが可能になります。



1年次「工業技術基礎」
実習の様子(上段化学 下段情報分野)



「英語」グループ学習の様子

2 基礎基本と学習方法の確立

高校で学力を伸ばす近道は、基礎基本をいかに身につけるか、自己の勉強方法を早いうちに確立するかにかかっています。充実したサポート体制をとっています。

朝学習で基本定着

週2回始業前の時間帯に、数学と英語の基本問題を演習しています。「ちりも積もれば山となる」精神でがんばっています。

サテライン講座で応用力強化

大手予備校「代々木ゼミナール」の有名講師陣によるサテライン講座を土曜日に受講しています。普段の授業内容とリンクさせ、基礎から一歩上の段階にレベルアップすることを目指しています。

(年間20回×90分英語と数学で実施)



サテライン受講の様子

月木7時間授業

工業の科目を履修しながら普通科目の授業時数を確保するために、7時間授業を実施しています。

3 さまざまな進路指導プログラム

進路面談で弱点克服

学年1クラス体制なので、個々に応じていない進路指導ができます。

定期的に行う進路面談で、学力を診断し、弱点を探ります。目標を定め、それに到達する道を教師とともに考えていきます。

自習室と準備室の効果的配置

友達同士で切磋琢磨して勉強しあう、わからないときには気軽に先生に質問できる、そんな環境作りを整えています。教室の隣に自習室を設置し、いつでも勉強できる部屋を確保しています。また、その隣の部屋が理数科職員室で、わからないところをすぐに質問して解決できます。学習の効率化とクラス内で互いに学びあう相乗効果を目指します。

4 グローバルな人材と、多種多様な能力を育成するための取り組み

高大連携プログラム

(1) 静岡大学実験実習講座

大学での研究内容を知り、自己の進路選択に役立てようと近隣の高校生とともに夏休みに参加しています。

(2) 医工連携プログラム

医学と工学が連携し新たな産業を生み出す研究が行われています。今年度は浜松医大と浜松市の企業が協力して開発した医療機器に関する講演会を本校会場で開催しました。



浜松医大の先生による講演会の様子

(3) 大学見学ツアー

1年生の夏休みに皆で大学見学します。大学の説明と模擬授業体験をします。今年は名古屋工業大学での実施となりました。

海外修学旅行

2年生の12月に海外修学旅行を実施します。今年度は台湾修学旅行の予定です。

本校と姉妹校である台湾沙鹿工業高校の生徒と交流し、1日ホームステイなども企画しています。

5 資格取得と部活動

「理数工学科ではどんな資格が取れるの?」「勉強と部活動の両立は可能?」など、さまざまな疑問があると思います。

資格取得

工業の様々な資格がある中で理数工学科では主として「数学検定」「英語検定」を柱に考えています。「理数研究部」の活動としてこれらの資格取得をサポートしています。また、部員でなくても参加は可能です。工業の資格に関心があれば、様々な資格取得に挑戦することも可能です。

部活動の両立

他の科に比べると普通教科の学習量が多く、理数工学科独自の行事がある中で、運動部との両立も大変な面があります。しかしうまくやりくりし、両立している生徒も多くいます。

要は、大学進学に対する志を持ち、学習意欲が旺盛であれば、両立は十分可能です。

6 進路目標

ものづくりのスペシャリストを目指し、本校で工業の基礎を体験することで、自分の適性にあった大学進学を選択します。

目標は

国公立理工系大学

東京工業大学 名古屋工業大学 静岡大学 豊橋技術科学大学 信州大学など

私立理工系大学

早稲田大学 名城大学 芝浦工業大学 東京都市大学 日本大学など

国立工業高等専門学校編入

沼津高専 豊田高専 小山高専など